国民健康保険の届け出を忘れていませんか？

会社の保険などに加入している人を除いて、すべての人は国保に加入しなければなりません。

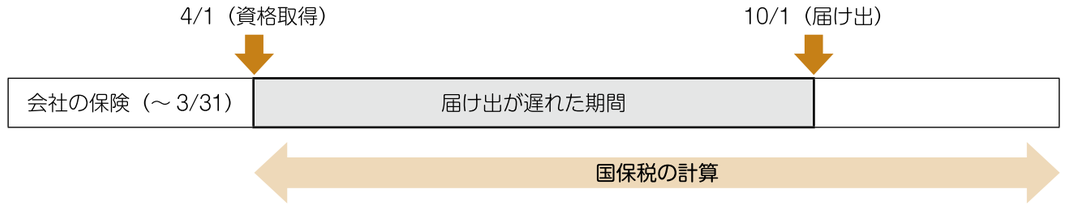
こんなとき	届け出に必要なもの	国保の資格
他の健康保険をやめて国保に加入するとき	●他の健康保険の資格が失われたことを証明できるもの（資格喪失証明）	退職した翌日から
他の健康保険に加入したため国保をやめるとき	●国保の保険証 ●新しい保険証または資格取得証明	資格を取得した日まで

国保の届け出は、事実が発生してから14日以内に手続きをしてください。

加入の届け出が遅れると・・・・・

国保税は届け出をした日からでなく、資格を取得した日まで遡って計算されます。

例えば・・・会社を退職した日が3月31日で、届け出をした日が10月1日の場合でも資格取得日は4月1日からとなります。**（転入時に国保の手続きをしていない場合も同じです。）**



●国保税の納付はお済みですか●

国保は、いつ病気やけがをしても安心して医療機関にかかれるよう、みんなでお金を出しあい、お互いに助け合うことを目的とした制度です。

国保税を納めていない人がいると、国保の健全な運営に支障をきたします。

納付されていない人は、早めに納付をお願いします。また、納付が困難なときは相談してください。

●国保税を納付しないでいると●

国保税の納付がされない世帯には、通常の被保険者証に代えて短期被保険者証や被保険者資格証明書を交付するとともに、差押をすることもあります。

①短期被保険者証が交付されると、有効期間が短くなり、更新ごとに納付相談を受けていただきます。

②被保険者資格証明書が交付されると、病院等で診療を受けたとき、医療費をいったん全額支払っていただきます。

その後、保険給付分については手続きしていただくことによって還付されますが、場合によっては給付の一時差し止めや、滞納額を差し引くこともあります。

③不動産、給与、預貯金額があるのに、納付の義務を果たさない場合は、差押を行うこともあります。

●特別な事情があるときは申し出を●

災害などの特別な事情により国保税の納付ができない場合は、必ず申し出をしてください。

問い合わせ先　住民生活課　保険窓口班　都築

特定健診・高齢者健診を受けましょう！

定期的な健診は、ご自身の健康について知ることができる機会です。また、病気の早期発見、早期治療により医療費の抑制にもつながります。

無料で受診ができますので、今年度の健診をまだ受診していない方は、ぜひ受診してください。

特定健診

●対象：40歳から74歳の国保被保険者の方

高齢者健診

●対象：75歳以上の後期高齢者医療被保険者の方

※受診は**10月31日（日）までに**お願いします。

特定健診・高齢者健診受診の流れ

事前に、希望の健診機関へ直接予約をする。

↓

受診券・問診票・保険証を持って受診する。

↓

健診から1カ月後、健診機関から結果が届く。

◆人間ドックの助成について

人間ドックを受診する時に、「特定健診受診券」または「高齢者健診受診券」を提出することで、各健診については、無料で受けることができます。

また、人間ドック受診費用への補助金もあります。受診後、申請により1万円を上限として、補助金を交付します。

※人間ドックは、令和4年3月31日まで受診ができます。11月1日以降に受診される方は、受診券を再発行しますので、お知らせください。

問い合わせ先　住民生活課　保険窓口班　前田

●めざせ！がん検診受診率50%達成●

～10月1日～31日は、がん検診受診集中キャンペーン期間です～

40歳以上のみなさんへ

肺がん・結核予防レントゲン検診を受けましょう！

町内医療機関（大杉中央病院・大田口病院）で、肺がん・結核予防レントゲン検診を受診できます。今年度、まだ受診をされていない方は、町内医療機関にお問い合わせのうえ、受診をしましょう。

◆対象年齢：40歳以上の方
◆費用：無料
◆受診期限：10月31日（日）まで

女性のみなさんへ

子宮頸がんの集団検診について

◆実施日：10月9日（土）

◆場所・時間：

東豊永公民館	9:00～9:30
ふれあいセンター	10:30～11:00
	13:00～13:30
役場庁舎	15:00～15:30

◆事前申し込みをした方に限ります。

送付された受診票を忘れずにお持ちください。

これから乳がん検診を受けるみなさんへ

ワクチン接種と乳がん検診について

新型コロナウイルスワクチン接種に伴い、接種した側のわきの下のリンパ節が腫れることがあります。良好な免疫反応を獲得している兆候ですが、乳がん検診（マンモグラフィや乳房超音波検査）では、その腫れが偽陽性と診断されてしまい、再検査や追加検査になることがあります。

それを防ぐためにも、乳がん検診のタイミングは、ワクチン接種前か、2回目のワクチン接種後少なくとも6～10週間の間隔を空けてからにすることが望ましいです。

「日本乳癌検診学会　乳がん検診にあたっての新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応の手引き」より

問い合わせ先　地域福祉課　健康づくり班　宮岡